

平成30年度 第10回全体庁議（11月7日開催）

区分	審議・報告	案件名 (担当部)	(3) 「帯広市バイオマス活用推進計画」及び「十勝バイオマス産業都市構想」の改訂原案について[産業連携室]
----	-------	--------------	---

■ 提案・報告の趣旨

「帯広市バイオマス活用推進計画」及び「十勝バイオマス産業都市構想」(共に平成25年度～34年度(2022年度))について、中間評価報告書を踏まえ、目標や取組み内容の見直しを行い、改訂原案を作成したことから、平成30年11月22日に開催される産業経済委員会に報告するもの。

■ 提案・報告の主な内容(概要)

1 帯広市バイオマス活用推進計画における主な変更箇所

- ・「1計画策定の趣旨」及び「2地域の現状」については、各種数値データの更新と中間評価の実施や北海道胆振東部地震等の事実関係を追加した。
- ・「3バイオマスの活用の現状と目標」については、家畜排せつ物の利用率が増加したことから、廃棄系バイオマスの利用率の目標を、94.3%から95.5%に変更した。未利用系バイオマスの利用率は、バイオエタノール原料の利用率を目標から削除したことにより、目標を89.9%から88.6%に変更した。全体の利用率の目標では92.6%から94.3%に変更した。
- ・「4バイオマスの活用に関する取組み内容」については、再生可能エネルギーの利活用に関する調査研究等を行うことや木質燃料及びBDF燃料の利用拡大を図ることを追加したほか、バイオエタノール製造や活用に関する記載を削除した。

2 十勝バイオマス産業都市構想における主な変更箇所

- ・「1地域の概要」及び「2地域のバイオマス利用の現状と課題」については、各種数値データを更新し、十勝の主な指標に豚の飼養頭数を追加するとともに、再生可能エネルギーの送電系統への連系などの課題を追加した。
- ・「3目指すべき将来像と目標」については、中間評価の結果を踏まえ合計利用率の目標を94.5%から95.0%に変更した。発電におけるエネルギー自給の目標は、順調に推移していることから、自給率目標は変更せず、利用量が増えている太陽光発電の目標を「現状以上」に変更した。CO2排出削減量の目標は、バイオマス利用量の見直しに伴い、目標を24,509千トンCO2から33,258千トンCO2に変更した。
- ・「4事業化プロジェクト」の内容については、再生可能エネルギーの利活用の調査研究等を行うこと、バイオエタノール製造の取組みの中止を追加した。
- ・「5地域波及効果」については、新たな需要額を現状に併せ、120億円から170億円に変更するとともに地域内経済効果も変更した。

■ 今後のスケジュール

- ・平成30年11月 産業経済委員会にて改訂原案報告
- ・平成30年11月～12月 帯広市バイオマス活用推進計画改訂原案のパブリックコメント
- ・平成30年12月 十勝バイオマス産業都市構想改訂原案を国へ報告
- ・平成31年2月 産業経済委員会にて最終案を報告

■ 審議結果

- ・同内容で、11月22日産業経済委員会へ報告することで了承された

■ その他、指摘事項等